

研究報告書 98-3

# 生命保險 豫定事業費 合理的 決定 關 研究

1998. 2

李 元 敦

盧 秉 璽

張 康 鳳

保 險 開 發 院

保 險 研 究 所

韓國 金融產業 國際化, 開放化, 自律化 環境變  
化 , 保險產業 가 , '97 12  
國際通貨基金(IMF) 救濟金融 支援 金融機關運營 先進화가  
市場原理 競爭力  
金融機關 引受 合併 退出

保險產業 環境變化  
消費者 保護, 支給能力 強化 責任經營 가  
事業費 部門 合理  
的 調整 價格 競爭力 確保 保險產業 先進化

保險會社 運營 效率性 利益 源泉 分析  
事業費 部門 가 費差部門 死差部  
門 利差部門 會社가 統制 內部 運營 效率性 가

外形 爲主 成長 指向 事業費 部門  
移延事業費 償却  
事業費差損 가 生命保險 價格自由化  
豫定事業費 自由화가 1998 超過  
事業費

事業費 體系 運營上 問題點

分析 價格競爭力 確保, 契約者 衡平性, 消費者 權益保護 財務健  
全性 提高 側面 改善方案 提示 . , 價格自由化 最終段階  
豫定事業費 目前 原價會計的 接近方法 機能  
別 原價體系(functional cost system) 保險原價計算 合  
理的 附加保險料 算出 .

本院 1997 研究計劃課題 保險研究所  
李元敦 副研究委員 盧秉~~鎰~~ 前任研究員 張康鳳 研究員

. 가  
. 本 研究所 顧問 研究進行過程 助言  
西江大學校 李京龍 教授 本院 研究諮問委員  
漢陽大學校 吳昌洙 教授

. 研究結果 柳  
東辰 長 成周昊 副研究委員 .

. 가 ,  
事業費 當面 研究者  
見解 本院 公式 見解 .

1998 2

保 險 開 發 院  
院 長 金 勝 濟

## < 目 次 >

· 序論 .....	1
1. 研究 背景 .....	1
2. 研究 目的 範圍 .....	2
· 事業費 意義 現況 .....	5
1. 事業費 意義 特性 .....	5
2. 豫定事業費 策定 支出形態 .....	7
3. 生命保險 事業費 現況 .....	9
가. 會社別 事業費 現況 .....	9
· 保險種類別 事業費 現況 .....	11
· 年度別 事業費 現況 .....	13
· 豫定維持費 自由化 .....	14
· 豫定事業費 體系 問題點 改善方案 .....	18
1. 價格競爭力 確保 .....	18
가. 現況 .....	18
· 問題點 .....	20
· 改善方案 .....	21
2. 契約間 衡平性 .....	23
가. 現況 .....	23
· 問題點 .....	24

. 改善方案 .....	25
3. 消費者 權益保護 .....	31
가. 現況 .....	31
. 問題點 .....	32
. 改善方案 .....	35
4. 財務健全性 提高 .....	41
가. 現況 .....	41
. 問題點 .....	43
. 改善方案 .....	48
5. 改善效果 .....	50
. 主要國 豫定事業費 附加現況 .....	<b>53</b>
1. 美國 .....	53
가. 規制現況 .....	53
. 附加體系 .....	54
. 實績現況 .....	55
2. 日本 .....	56
가. 規制現況 .....	56
. 附加體系 .....	56
. 實績現況 .....	58
3. 가 .....	59
가. 規制現況 .....	59
. 附加體系 .....	60

. 合理的 事業費 策定方案 .....	61
1. 原價會計的 接近 .....	61
가. 原價 分類 .....	63
. 原價 集積 .....	67
. 原價 配分 .....	69
2. 原價分析 .....	73
가. 變化分析法(change analysis) .....	73
. 機能別 原價體系(functional cost system) .....	74
. 活動基準原價法(activity-based costing : ABC) .....	91
3. 保險商品 價格算定 .....	94
가. 原價 保險商品 價格算定 .....	94
. 原價-規模-收益性(CVP) 分析 .....	95
. 結論 .....	99
< 參考文獻 > .....	102
< 附錄 >                   4228 .....	104

< 目次 >

<	- 1> 美國 生命保險會社 經營破綻 主要 要因(1976 1991) .....	6
<	- 2> FY'96 會社別 事業費 現況 .....	10
<	- 3 > FY'96 保險種類別 事業費 現況 .....	12
<	- 4> 年度別 事業費 現況 .....	13
<	- 6> 生命保險 價格自由化 日程 .....	15
<	- 7> 維持費 比率 推移(收入保險料 基準) .....	17
<	- 1> 豫定事業費 限度 .....	19
<	- 2> 商品別 事業費率 例示 .....	24
<	- 3> 保險料 新契約費 例示(豫定新契約費 差等) .....	28
<	- 4> 保險料 新契約費 例示(豫定新契約費 同一) .....	30
<	- 5> 中途解止 經過期間別 負擔事業費率 .....	33
<	- 6> 主要國 失效解約率 .....	36
<	- 7> 實際 新契約費 支出形態 .....	41
<	- 8> 會社別 準備金 積立現況 .....	43
<	- 9> 新契約費 保險料積立金 變化 .....	44
<	- 10> 新契約費 配當金 推移 分析 .....	46
<	- 11> FY'96 會社 別 新契約費 現況 .....	49
<	- 1> 普通保險(ordinary life policy) 豫定事業費 策定 例示 .....	54
<	- 2> 標準事業費率 例示(生死混合保險 基準) .....	57
<	- 3> 實際事業費率 推移 .....	58
<	- 1> 機能配分比率(functional percentages) .....	85

<	-2>	機能	費用(expenses by function)	.....	86			
<	-3>	機能別	單位原價(functional unit costs)	.....	87			
<	-4>	個人生命	年金費用	2	保險種目	配分	.....	88
<	-5>	一般終身生命保險	資產割當費用	.....	89			
<	-6>	一般終身生命保險	單位費用(unit cost)(手當除外)	.....	90			
<	-7>		此後年度	單位費用	.....	91		
<	-1>	豫定事業費	附加例示	.....	8			
<	-1>	死亡保險金	財源分析	.....	47			
<	-1>	損益分岐點	分析	.....	98			

# . 序論

## 1. 研究 背景

生命保險產業 1962  
30%  
6 保險大國<sup>1)</sup> ,  
社會保障機能, 產業危險保障機能 產  
業資金調達機能 가  
國際化, 開放化, 自律化  
金融改革 推進, 綜合金融化, 消費者  
金融商品 知識增大 消費者權益保護運動 活性化  
激甚 競爭  
國際通貨基金(International Monetary Fund : IMF) 救濟金融  
支援 健實化  
內實經營  
市場金利 構造調整  
保守的

1) Swiss Re, *Sigma*, pp. 18 26, 1997.4 1995  
6 , 6 , 10 ,  
(GDP) (Insurance Penetration)  
1995 13.16% 2 .

約 減少 過去 收支差 逆潮 現金 事業費 外形成長 新契

示顯 事業費 利原別 損益 事業費 價格競爭力 預定事業費 自由化가 1998 競爭力 培養 豫定事業費 契約者 保護 保險會社 財務健全性 確保

## 2. 研究 目的 範圍

費 體系 發展 問題點 分析 改善方案 提示 保險產業 健全 發展 事業費 機能原價體系 豫定事業

事業費 , 가

販賣量

事業費

手數料 가

가 가 가 가

가

基本的 算出基礎

豫定危險率, 豫定利率, 豫定事業費率 2).

가

價格 差異

豫定事業費 規模 經濟 實現,

가 , 商品 價格競爭力

事業費

가

가

消費者主義(consumerism)

政府 規制 監督

(disclose)

保險經費(insurance expenses) 投資經費(investment expenses)<sup>3)</sup>

2) 가 豫定危險率, 豫定利率, 豫定事業費率

3가 豫定失效解約率, 保

險加入金額 , 所得稅 가

4), 가

固有 保險經費

構成

事業費	意義	事業費	現況	自由化
計劃		事業費	附加體系	
問題點	改善方案	가	事業費	規
制現況, 附加體系		事業費率	附加實績	
豫定事業費	策定	實際事業費	分析	機能別 原價
策定 方法			結論	

3) 「 」 ‘ ’ , 가

4) Dan M. McGill, *McGill's Life Insurance*, Pennsylvania : The American College, 1994, p. 383.

# ・事業費 意義 現況

## 1. 事業費 意義 特性

事業費が銀行預・積金  
 銀行窓口  
 販賣手當  
 契約査定(underwriting) 經費  
 事業費 執行  
 經費 加算 保險商品  
 銀行商品間 差異が  
 が 豫定事業費  
 新契約費, 維持費, 收金費  
 新契約費 が  
 , 維持費 が , 收金費  
 豫定事業費  
 事業費が  
 支出額 豫想  
 が  
 契約者側面 が が



價格引下 競爭 止揚 23% 過度

## 2. 豫定事業費 策定 支出形態

事業費 合理的 運用 豫定事業費 策定  
가 .  
豫定事業費 附加 商品類型, 保險期間 「  
」 限度內  
, 가 . 事  
業費 所要額 相異  
實際事業費 附加體系가  
原價分析  
實際事業費  
機能別 豫定事業費 , 加入  
時點 가 5) ,  
每年 維持 가 ,  
가  
豫定事業費

5)

가 가 .

가 , 特殊商品  
 가 . <  
 -1> 事業費 가 .

< -1> 豫定事業費 附加例示

( : , 10 , 가 1,000 , 10 )  
 ( : )

0	1	2	3	...	10	11	12
30	0	...					
4( )	4	4	4	4	0.5	0.5	0.5
0.3( )	...				0	...	

: 4 , 0.5 .

實際事業費 支出

, 豫定事業費 附加基準 正確 . ,  
 豫定事業費

件當經費, 保險料, 保險加入金額 比例 混合經費

豫定事業費 가

, 比例性經費 ( )

가 新契約費

均

等 . 가 가  
 가  
 維持費, 收金費 豫定事業費 算定方式  
 收金費 가 ,  
 가 가  
 收金費 保險料 比  
 例 가  
 , ,  
 維持費  
 가 , , 豫定事業費  
 가 가 가

### 3. 生命保險 事業費 現況

#### 가. 會社別 事業費 現況

< -2> 1997 3 超過事  
 業費가 費差損 , 3  
 費差益 , 3 費差損  
 3 費差益 費差益 示顯  
 가

豫定事業費率 實際事業費率

、實際事業費率 外國社 保障性的保險

3 全會社

費差益 利差益、死差益 、利

差、死差配當 費差配當 導入 準備 加 .

< -2> FY'96 會社別 事業費 現況

( : , %)

		(A)	(B)	(B - A)	(B - A) / A (%)
	285,500	53,164 (18.6)	49,465 (17.3)	- 3,699 (- 1.3)	- 6.96
	45,526	7,592 (16.7)	8,552 (18.8)	960 (2.1)	12.64
	20,752	4,257 (20.5)	4,931 (23.8)	674 (3.3)	15.83
	28,454	3,277 (11.5)	4,771 (16.8)	1,494 (5.3)	45.59
	1,402	541 (38.6)	612 (43.7)	71 (5.1)	13.12
	381,634	68,829 (18.0)	68,331 (17.9)	- 499 (- 0.1)	- 0.1

: (-) , ( )  
: 『 』 , 1997. 5.

· 保險種類別 事業費 現況

保險種類別	< -3>	個人保險	保障性保險
	·		4 7,819
	12.5%	2	2,166
	32.3%		
·		1%	가
가	가	,	
		·	
費差益 示顯		,	
		,	가
		·	
收益率	가		(
	)	費差損	
· 保障利率 側面		資産運用收益率	收益率
,	費差損		費差益 轉
入	契約者 保護		·

< -3> FY'96 保險種類別 事業費 現況

( : , %)

		(A)	(B)	(B)- (A)
가	187,226	36,288 (19.4)	35,504 (19.0)	- 784 (- 0.4)
	102,717	10,518 (10.2)	10,937 (10.6)	419 (0.4)
	84,509	25,770 (30.5)	24,567 (29.1)	- 1,203 (- 1.4)
	40,764	6,190 (15.2)	7,151 (17.5)	961 (2.3)
	15,816	1,124 (7.1)	1,418 (9.0)	294 (1.9)
	24,948	5,066 (20.3)	5,733 (23.0)	667 (2.7)
	47,819	22,116 (46.2)	22,218 (46.5)	102 (0.3)
	275,809	64,594 (23.4)	64,873 (23.5)	279 (0.1)
	64,503	560 (0.9)	531 (0.9)	- 29 (- 0.0)
	41,322	3,675 (8.9)	2,926 (7.1)	- 749 (- 1.8)
105,825	4,236 (4.0)	3,457 (3.3)	- 779 (- 0.7)	
381,634	68,829 (18.0)	68,331 (17.9)	- 499 (- 0.1)	

: (-) , ( )  
: , 『 』 , 1997. 5.

年度別 事業費 現況

過去 事業費 現況 費差損

1989 觀察期間  
30%가

< -4> 年度別 事業費 現況

( : ,%)

1987	72,941	7,660	10.5	8,294	11.4	634	0.9
1988	93,791	10,215	10.9	10,578	11.3	363	0.4
1989	118,656	13,949	11.8	14,082	11.9	133	0.1
1990	160,436	18,122	11.3	18,714	11.7	591	0.4
1991	193,771	23,935	12.4	24,746	12.8	812	0.4
1992	226,414	30,860	13.6	30,691	13.6	- 170	- 0.1
1993	240,534	37,673	15.7	36,106	15.0	- 1,567	- 0.7
1994	277,495	50,759	18.3	51,088	18.4	329	0.1
1995	352,880	61,668	17.5	64,190	18.2	2,522	0.7
1996	381,634	68,829	18.0	68,331	17.9	- 499	- 0.1

: , 『 』 , 1996

< -4> . 豫定事業費

實際事業費가 가 1994

頂點 鈍化勢 .

가 1988 國內 勞動市場 人件費 上昇

募集手當 増加 新設社 進入 33

가 가

實際事業費率 累積損失 支給餘力 確保가

實際事業費 節減分 支給餘力 項目<sup>6)</sup>

3 實際事業費率

制裁措置<sup>7)</sup>가 , 企業經營 環境 危機 景氣不

況

豫定維持費 自由化

豫定事業費率 自由化 가 1994

가 , 1998

가 ,

6)

“ ” “ ”

:

:

2 1

7)

(100 ), (100 300 ),  
(300 500 ), (500 1,000 ),  
(1,000 )

費差配當 自由化가

< -5> 生命保險 價格自由化 日程

	1 (1994.4)	2 (1995.4)	3 (1997.4)	4 (1998 )
	-			
		-		

: 「 , 1993.12.20

平面的

慢性的 維持費差損

, 가

가

保險加入金額

가 ( : )

가 , '93 7 「

生命保險商品管理規程」 가

全體 保險料 基準

가

概括的 , < -6>

1994 ( )

豫定維持費率 多少 上昇

引下

競争 自制

가

8)

가

가가

가

實際維持費가 増加

가 가

經濟社會的 環境變化

가

가

. < -6>

納入保險料가

8) 「 」 (1993. 7) 가

	가	2,000	1,000	2,000
			4/1,000	3/1,000 × 2=6/1,000
	가	200	1,000	2,000
	( 가 10 )		4/1,000	3/1,000 × 2=6/1,000

가 가 1,000 4/1,000 ,  
 가 3/1,000 가 2,000  
 6/1,000 가 .

< -6> 維持費 比率 推移(收入保險料 基準)

( : %)

1986	3.0	3.7	11.7	13.6	2.4	2.8	1.4	1.4	2.7	3.1
1987	2.8	3.5	11.0	14.8	1.9	2.5	1.2	1.2	2.2	2.8
1988	3.3	4.2	8.6	15.9	1.7	2.2	1.0	1.3	2.2	2.9
1989	2.9	4.1	8.7	17.1	2.0	2.7	1.0	1.2	2.3	3.2
1990	2.8	4.4	9.2	20.8	1.9	2.9	0.8	1.0	2.2	3.3
1991	2.8	4.5	8.8	18.9	1.8	2.9	0.9	1.0	2.2	3.6
1992	2.7	4.1	8.1	14.9	1.7	2.7	0.9	1.1	2.3	3.6
1993	2.7	3.7	7.7	13.4	2.6	3.9	1.1	1.3	2.7	3.9
1994	3.3	4.4	7.9	14.0	2.8	4.3	1.1	1.3	3.2	4.6
1995	3.6	4.9	7.9	13.5	2.0	3.2	1.0	1.3	3.2	4.7
1996	4.0	5.1	7.9	12.6	3.0	4.4	0.9	1.2	3.5	4.9

: , 『 』 ,

生命保險 價格自由化

豫定事業費

가

,

가 費差損

가

,

消費者 入場

가

가

가

缺損

,

가

## · 豫定事業費 體系 問題點 改善方案

本章 事業費 附加 策定方法 問  
 題點 分析 改善方案 提示 事業費  
 規制緩和 價格競爭力 確保 個別商品 契約者 保險期間  
 別 事業費 策定 合理化 各種 契約間 衡平性 圖謀 , 維持  
 率 提高 가 消費者  
 權益 , 豫定事業費 適正化 財務健全性

### 1. 價格競爭力 確保

#### 가. 現況

生命保險 事業者가 豫定事業費 「生命保險商品  
 管理規程」 豫定事業費率 ,  
 限度가 實際事業費  
 豫定事業費 體系 內部基準

規制現況 < -1> , 가  
 自律的  
 申告商品  
 가

特約

40

全期月納

< -1> 豫定事業費 限度

		-	50%
		5	10%
	6	10	20%
	11	20	30%
	21		40%
		-	50%
		5	5%
	6	10	10%
	11	20	15%
	21		20%

個人保險 保險種類別 豫定新契約費 基準

○ : 가 30/1,000

○

· 5 : 5/1,000 × S1 + 10/1,000 × S2

· 5 : 가 15/1,000 + 5/1,000 × S1 + 10/1,000 × S2

, S1 : , S2 :

○

. 5 : 가 20/1,000

. 5 : 가 35/1,000

團體保險 90%  
, 保障性 特約 10%

. 問題點

事業費 策定 支出 商品開發 保險料  
算定 原則 , 附加  
政策方向 一致 가  
, 規制 實際 經費가 豫定  
事業費 充分 事業費 가

上限 適用 傾向 .  
가  
30/1,000 가 1,000 가  
, 所得水準 向上 必要 年金額 増大  
가 가 3,000 5,000 1  
. 가  
1,000 3 5 1

, 分割  
 保險約款 證券發行 附加經費가  
 가 割引  
 가 가 豫定事業費  
 總事業費 確保側面 事業費 規制 實益  
 最高 限度가  
 가  
 事業費 計定 費差損益 相互補填 禁止 代替가 가  
 解約還給金 保障  
 , 自由化 가 體感 最終 還給  
 率

· 改善方案

市場原理 가 가 自律的 事業費  
 自由화가 生命保險 價格自由化 計劃上 豫定事業費 自由化  
 ‘98 ,  
 移延事業費 償却 ’99 4 範圍料率  
 , 豫定事業費率  
 2000 4 轉換  
 9)

9) , 「1998」, 『 , 『 ,  
 , 1997.12.10

事業費自由化 肯定的 側面 價格競爭  
 가 , 事業費 附加  
 가 經營効率化 .  
 否定的 側面 初期事業費 過多 支出 損失  
 轉嫁 事業費 策定 ,  
 가 事業費 費差損  
 增大 財務健全性 沮害 .  
 注力商品 特定商品 戰略的  
 事業費 策定 事業費 不均衡 招來  
 .  
 解約 不利益 探索費用 轉換費用(switching cost)  
 가 事業費가  
 保障內容 가 가  
 衡平性  
 自動車保險 1 短期商品  
 更新型 商品 滿期 契約 更新時 가  
 .  
 豫定事業費 自由化 保險産業 健全 發展 ,  
 . 費差益  
 費差配當 還元 豫定事業費 科  
 學的 經營合理化 , 費差損  
 經營効率化 政策 節減 善意

4 가

費差配當自由化

가

(料率政策, 配當政策)

事業費 規制

現行 事業費 體系

解約還給金制度 改善

總額事業費 限度

間接的 規

制<sup>10)</sup> 異常現狀

政府監督

가

販賣市場, 販賣方法

販賣對象

事業費率

商

品名

## 2. 契約間 衡平性

가. 現況

商品類型別, 保險期間別 豫定事業費 限度, 新契約費 限度

性別, 年齡別

契

約者間 事業費率

衡平性

가

10)

一律的

40

「

」

가 絶對額

가

가 保障性保險

가가

貯蓄性保險

高年齡

< -2>

가

< -2> 商品別 事業費率 例示

		15	50	15	50
		74.4%	24.4%	90.9%	43.5%
		30.4%	17.1%	32.8%	26.2%
		13.5%	12.8%	13.4%	13.2%
		58.5%	12.2%	62.5%	11.8%

:

, 60

10

,

60

問題點

1) 契約者別 事業費率 策定 不調和

事業費 規制體系

事業費 附加現況

가

,

가

,

가

80% 價格策定上  
 . 實務  
 . , 가  
 新契約 締結 維持管理 費用  
 . 證券發行費, 案内狀 約款作成 經費 가  
 規模 가 .

2) 保險期間別 事業費率 策定 不調和

, 合理的 中途解約  
 가 , 豫定事業費 數理的 衡平  
 性 加入形態 가  
 . 가 가

5 定期保險 更新 2 가 10  
 1 가 가 10  
 가 5 5 가  
 가 .  
 가 .

. 改善方案

1) 契約者別 事業費率 差異 緩和

不特定多數 가

特別利益  
 算出原理 保險料 差別化 收支相等原則 保險金 提供 保險料  
 公平性 原理 一律的 相對的 不公平 公平的  
 豫定事業費率  
 商品 類型 豫定事業費率 支出形態 分析 保險商品  
 性格 事業費 水準 商品開發基準 基準年齡  
 學的 事業費 附加體系 原則論的 事業費 支出 科  
 社會慣習 調和 契約者 立場 適正 還給率 保障  
 衡平性 給付設定 缺陷 價格策定 誤謬

費 機能別 特性  
 合理的  
 ( 가 )  
 分給  
 가 ,  
 ,

改善方案  
 基本 原價 純保險料  
 가 ,  
 保險金 比例經費  
 , 件當經費  
 ,

事業  
 가 ,  
 , 保險料  
 ,

比例經費  
 性別, 年齡別 豫定事業費率 不公平 附加問題 豫定事業費  
 附加體系  
 豫定事業費 附加體系 保險料 가  
 가 가 , 加入

對象 細分化  
 保險料 比例經費 , 解約損  
 底邊擴大  
 가 가



$$\frac{\alpha_1}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} \quad \frac{\alpha_2}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}} \quad , \quad n1 < n2 \quad , \quad \alpha_1 < \alpha_2$$

		保險期間別		差等附課	(
				5	2
		1	가		가
10			가		
20	5		가	5	25
		34		20	10
		2			가
36					
				保險料	新契約費
部分	同一			保險料	反映
新契約費	가	公平	가가		

$$\frac{\alpha_1}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} \quad \frac{\alpha_2}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}} \quad , \quad n1 < n2 \quad , \quad \alpha_1 < \alpha_2$$

10                      8.5/1,000                      5                      5/1,000,

長期契約 1回 加入 短期契約 加入  
 有利

附課 發生 短期契約  
 契約  
 豫定事業費 同一  
 豫定新契約費 絶對 長期

$$\frac{\alpha}{\ddot{a}_{x:\overline{n1}|}} > \frac{\alpha}{\ddot{a}_{x:\overline{n2}|}}, \quad n1 < n2$$

5 (n1), 10 (n2) 가

7/1,000( )

< -4>

< -4> 保險料 新契約費 例示(豫定新契約費 同一)

( : 가 10 , , )

		20	21	25	26	30	31	35	36	40	41
5	P'	37	38	40	40	40	40	48	50	65	70
	ALP	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
10	P'	32	33	34	34	37	39	49	52	-	-
	ALP	8	8	8	8	8	8	8	8		

: P' : , ALP :

< -4> 10 가 5 失效

解約 5 가

. , 20 5

5 37 10  
가 32 5

解決方案

3. 消費者 權益保護

가. 現況

相互 利益關係 逆(trade-off) 關係  
 事業費率 가 가 經濟的 效  
 用  
 가 實際 豫定事  
 業費率  
 豫定事業費率 死亡脫退  
 가 가 15 30%  
 , 中途解約者 事業費가  
 가 契約初期  
 90% 가 實際  
 事業費率 豫定事業費率  
 個人年金保險 中長期商品  
 解約還給率 民怨 提起 解約還給金 既納入保險  
 料 經費 同一 保險團體 保  
 險事故

가

가 支出

問題點

< -5>

實際事業費率

實際事業費率

保障性保險

貯蓄保險料가

危險保險料

가 事

業費

準備金 積立

部分

事

業費

가

0

貯蓄性

保險料 規模가

事業費 規模가

3

가

5

事業費 累計額 50

11)

絕對額

< -5>

實際事業費率

事業

費

가

實際事業

費率

特殊商品

豫定事業費率

11)

5

547,200

가

579,000

1,000

< -5> 中途解止 經過期間別 負擔事業費率

- 生死混合保險

( : 가 10 , 35 , 20 )

	1	2	3	4	5	7
	3,147	6,294	9,441	12,588	15,735	22,029
	2,753	3,989	4,483	4,978	5,472	6,461
	87.5%	63.4%	47.5%	39.5%	34.8%	29.3%
	2,372	4,744	7,116	9,488	11,860	16,604
	1,978	2,439	2,158	1,878	1,597	1,036

: 1. 3,147 775  
24.6% .  
2.

, 1  
가 1,978 .  
3. 394 .  
4. ,

- 老後福祉年金保險

( : 10 , 35 )

	1	2	3	4	5
	1,200,000	2,400,000	3,600,000	4,800,000	6,000,000
	260,072	320,144	380,216	440,288	500,360
	21.7%	13.3%	10.6%	9.2%	8.3%
	1,091,928	2,183,856	3,275,784	4,367,712	5,459,640
	152,000	104,000	56,000	8,000	0

1. 1,200,000 108,072  
9.0% .

2.

3. 11,928 .

4. 5 9.0%가 4%  
 5 240,000 ,  
 200,000 .

- 満期還給形保障性保険

( : 가 10 , 35 , 20 )

	1	2	3	4	5	7
	1,951	3,902	5,853	7,804	9,755	13,657
	1,557	3,114	4,671	5,332	5,790	6,706
	79.8%	79.8%	79.8%	68.3%	59.4%	49.1%
	1,166	2,332	3,498	4,664	5,830	8,162
	1,166	2,332	3,498	2,192	1,865	1,210

1. 1,951 785  
 40.2% .

2. , 1,2,3

3. 가 394 .

負擔事業費率

1 事業費率 満期還給形 保障性保険

가 轉入

가 事業費 所要額

早期( 3 )

事業費 財源

個別商品 , 月末報告書上 豫定事業費 가  
 構成比率 . , 가  
 豫定事業費率 , 特殊  
 商品 豫定事業  
 費率 .  
 實際事業費  
 가 比例費用( )  
 가 知名度  
 擔保力 成敗 價格競爭力 積極的  
 販賣勸誘 가 가  
 契約締結 能力 .

· 改善方案

1) 維持率 提高

< -6 >

維持率 . 緣故契約 ,  
 認知度 不足

管理疏忽 . , 事業費 附加體系

募集手當 支給體系

< -6> 主要國 失效解約率

( : %)

FY'92	25.9	6.0	8.3
FY'93	25.1	6.1	7.6
FY'94	24.0	6.2	7.1
FY'95	23.7	6.4	7.2

保險契約 維持 契約者 意志가  
 完全販賣  
 가 確認 契約內容 認知與否 不健全

募集人 勸誘<sup>12)</sup>

持續的 管理가

“生活設計士(life planner)”

任務가

顧客滿足 誘導 顧客 感動

管理가

分給期間 2 3

12) 『'95 가 ( 刊)  
 40.6%가 가

保險會社, 募集人, 保險契約者 3 가

. 契約者 가

, 募集人

保險會社

가

弘報

手當支給 改善

責任 契約者, 保險會社, 募集人 3 가 共同負擔 方案

. 共同負擔 方案

募集手當 分給期間 延長

가 , 商品開發時 豫定事業費 가가

契約者 未償却新契約費 償却 解約控除

適正收益率

早期解約

還收 責

任轉嫁 責任 附與

固定性 經費 比例

性 經費

13)

13)

營業 擴大 縮小

가

20%

FY'96

26.5%

損失

全額 償却

76%

.14)

24%

保險會社가 負擔

解約控除時

承認事項

消費者保護團體

2) 事業費 水準 運營 合理化

競爭力 가 適正

水準 事業費 附加

金融改革作業 綜合金融化

進展, 金利自由化 完了

金融商品 價格自由化 金融兼業

14)

8/ 1,000,

17/ 1,000,

2%

8/ 1,000

6/ 1,000 ,

17/ 1,000

13/ 1,000

76%

化가 가 , 金融商品價格 透明性, 目  
 的適合性 가 公示制度  
 擴大<sup>15)</sup>가 事業費 構造 改善

事業費 體系

가가 適切 事業費 改善對策  
 效用 支出 費用

購買

가 金融環境 事業  
 費 體系 效率的 調整 過多 事業費 附加 販賣體系 整備  
 販賣 導入<sup>16)</sup> 經營效率化 政策 止揚 가

15) (illustration) (NAIC)

Life Insurance Illustration Model Regulation 1997 12 51 31

, 가 , 가

(illustration actuary) (Actuarial Standard of Practice No. 24)

16) K 가

가 10/1,000 ,

70%

先執行

3

豫定 事業費

100%

2

< -7>

78%가

比例手當

將來

確保

가

支給

<

>

( : , %)

K	K	834	834 (100.0)	399 (47.8)	201 (24.1)	28 (3.4)
A	A	4,216	4,215 (100.0)	2,877 (68.3)	700 (16.6)	62 (1.5)
B	B	1,882	1,882 (100.0)	1,076 (57.2)	292 (15.5)	83 (4.4)

: 1.

2

2. ( )

3. '97.4.1 '97. 9.30

< -7> 實際 新契約費 支出形態

( : , %)

	(A)		(B)		(C)
		A/C		B/C	
	27,380	79.6	7,000	20.4	34,380
	3,644	70.7	1,509	29.3	5,153
	1,879	71.6	744	28.4	2,623
	2,179	71.6	863	28.4	3,042
	272	77.5	79	22.5	351
	35,354	77.6	10,196	22.4	45,550

: FY'96

却 早期 確保 全額 償  
 가 早期 解約 還收措置  
 가 否定的 影響  
 가 綜合金融化 時代  
 事業費 效率的 策定 配分  
 消費者 利益 圖謀

#### 4. 財務健全性 提高

가. 現況

豫定事業費 財務健全性 關係  
 豫定事業費 準備金 積立

	配當金	
豫定事業費		新契約費 部分
	が	
準備金評価方式 <sup>17)</sup>		保険料積立金
純保険料式準備金		7

17)

3-68 ( )

1.

, 7

2.

$${}_{t+1/12}V = {}_tV + \frac{1}{12} \cdot ({}_{t+1}V - {}_tV)$$

, :

${}_tV$  :

3.

96

1

$${}_tV = K \cdot {}_tV^{(N)} + (1 - K) \cdot {}_tV^{(W)}$$

$$, K = \frac{({}_tV - {}_tV^{(W)})}{({}_tV^{(N)} - {}_tV^{(W)})}$$

${}_tV$  :  ${}_tV^{(W)}$  :

$K$  :  ${}_tV^{(N)}$  :

4.

解約還給金式準備金 積立<sup>18)</sup> .

< -8> 3 , 2

混合比例積立方式(K式) , 28 가

. , K

. 同一

, K

減少函數 가 .

< -8> 會社別 準備金 積立現況

	, ,
K	(14.8%), (5%)
	K 5 ,
	28

: ( ) K .

. 問題點

18)

$${}_tV^{(w)} = {}_tV^{(N)} - \frac{m-t}{m}$$

: m : t:

, 7 m 7 , 7

(m) .

新契約費 增大 支

給能力 不安 加重

가

解約還給金式

가

19). < -9>

2 3

가

W1t 가 3,139 ,

W2t 2,996 ,

W3t 2,924

保險料積立金 增加

額 比例

< -9> 新契約費

保險料積立金 變化

( : 가 10 , 35 , , 20 )

	1	2	3	4	5	6	7
Vt	2,364	4,894	7,604	10,505	13,614	16,943	20,508
W1t	0	2,751	5,890	9,220	12,576	16,514	20,508
W2t	650	3,465	6,461	9,648	13,042	16,657	20,508
W3t	1,078	3,823	6,747	9,863	13,185	16,728	20,508

: 1.

2. Vt :

W1t : 30/1,000

W2t : 20/1,000

W3t : 15/1,000

利差配當, 金利差保障

19) . , 『生命保險 價格自由化 方案』, 保險開發院, 1997. 3, pp. 57-58

. 經營利益 利源別  
 가 (< -10> ). 가 가  
 , 貢獻度 가  
 配當率<sup>20)</sup>  
 配當金 .

가 3 .  
 生命保險 價格自由化 段階上 1998

慎重 檢討가 解約  
 還給金 基準 保險料 算出 無關

가 配當率  
 差別化 政策 가 情報公示가

發生因子(  
 ) 配當率 ( )  
 )가 絶對額 가 .  
 가 昏亂 誤解

20)

가  
가

가

< -10> 新契約費

配當金 推移 分析

( : 가 10 , 35 , , 55 )

	1	2	3	4	5	6	7
Vt	2,699	5,592	8,691	12,013	15,575	19,393	23,486
W 1t	128	3,449	6,977	10,728	14,718	18,964	23,486
D1	0 (0)	3 (3)	69 (72)	140 (219)	215 (455)	294 (792)	379 (1,246)
W 2t	1,413	4,521	7,834	11,371	15,146	19,179	23,486
D2	0 (0)	28 (28)	90 (121)	157 (289)	227 (543)	303 (898)	384 (1,367)
D2- D1	0 (0)	25 (25)	21 (49)	17 (70)	12 (88)	9 (106)	5 (121)

: 1. 9.5%( 가 )

2. W 1t : 30/1,000

W 2t : 15/1,000

3. D 1, D 2 , ( )

準備金積立 充分性 側

面

死亡保險金 支給

財源

豫定新契約費

死亡保險金 支給

財源 不足額 가

< -1>

t 가

S , , 順

危險保險金額(net amount at risk) S-Vt , 가

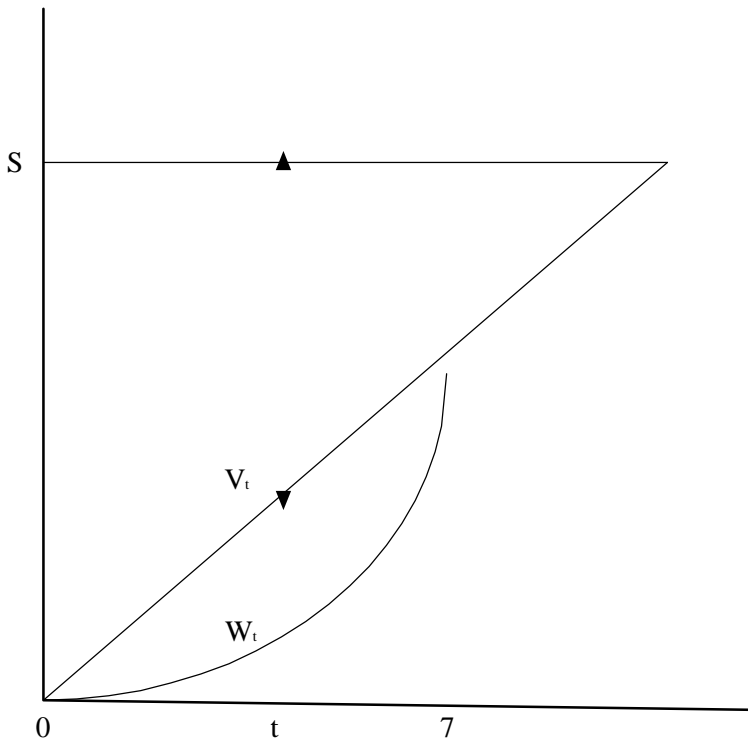
Wt , Vt - Wt

脱退  
 ,  
 -  $W_t$                       資本金                      剩餘金                       $V_t$   
 .  $V_t - W_t$

財務健全性

가 .

< -1> 死亡保險金 財源分析



· 改善方案

가 가 豫定事業費  
 · 事業費 策定 自由化 ,  
 가 .

豫定事業費 適正 水準 準備金 가 가  
 . 經過期間

別 一定率 標準準備金 ,  
 採擇 準備金 計算 新契約費 ,

約 維持率 事業費 策定 制 가

金融環境 高金利 狀況  
 下向安定 ,  
 金利選好意識

가 準備金 充當 財務危險 가 .

脫皮 , 原理  
 가 準備金 積立方法 改善  
 . 가 竝行 標準責任準備金 評價

制度 自律 , 가  
 規制 .  
 全體 事業費  
 轉換  
 支給餘力 不足狀況  
 加重 , 가  
 가  
 가 策定 가 .  
 < -11> 地方社  
 費差益 ,  
 7.4%가 示顯 .  
 10% ,  
 準備金 充實化 . 2  
 31  
 費目間 均衡 .

< -11> FY'96 會社 別 新契約費 現況

( : , %)

	37,897	5,512	2,377	3,045	351	49,182
	34,380	5,153	2,622	3,042	351	45,550
	3,517	359	- 245	3	0	3,632
	(9.3)	(6.5)	(- 10.3)	(0.1)	(0.0)	(7.4)

積立裝置가 . 死亡保險金 構成要素 補填 純危險保險金 別途 純保險料  
 式準備金 , 未償却新契約費  
 財源 . 準備金  
 積立 健實化  
 가 , 別途 餘力制度 不實化 防止

## 5. 改善效果

豫定事業費  
 가 . 事  
 業費 自由化, 事業費 附加 構造改善, 維持率 提高, 財務健全性 提高  
 가 側面 .  
 事業費 自由化 效果 가  
 , 規模 經濟效果 經營 效率性 價格差別化  
 . 事業費 策定 柔軟性  
 가 가 . 否定的  
 側面 價格競爭 深化 費差損 擴大  
 消費者 保護次元 財務健全性 가 .  
 事業費 附加 構造改善 側面  
 가 公平性

性別, 年齡別, 保險期間別 가  
 戰略的 差別化 ,  
 未償却 新契約費 一部 가 負擔 募集人 手當  
 支給期間 延長 維持率 提高 가 .  
 費差損 擴大 가 事業費  
 安定的 確保 . 安定的 資金流入 資産  
 運用收益率 民怨  
 間接規制 年次別 準備金 增加額 負擔緩和  
 財務健全性 .  
 , 競爭 激化 自生力  
 가 ,  
 現在 事業費 運營上 慣行 制度  
 , 向後 價格自由화가 保  
 險商品 價格競爭力 確保 方案  
 原價構造 價格 策定  
 豫測 商品開發 必須的

가 . 原價構造

가

原價 正確 認識 美國 가  
 .21)  
 가 保險原價 正確  
 算定 努力 研究가  
 保險原價計算 合理的 豫定事業費 策定 損益計  
 算 가 戰略種目 退出種目 事業費 統制  
 明確 . 原價會計次元 障  
 研究報告書 障 機能別 原價體系(functional cost system)

---

21) LOMA (Life Office Management Association) 1954 EMaP(Expense Management Program) 75  
 가 LOMA 가  
 가  
 LOMA Gregory P. Storey(Expense Management : Industry Trends, *Resource*, 1997 Jan., pp. 36 41, 1997 Feb., pp. 43 46, 1997 Mar., pp. 80 83) EMaP

· 主要國 豫定事業費 附加現況<sup>22)</sup>

1. 美國

가. 規制現況

	州	豫定事業費	가	.
		實際事業費		.
		, ,		가
		, 總費用 募集關聯費用(field expenses)		
가		<sup>23)</sup>	附錄	.
		가		가
		.		
			가	
		標準解約還給金法(standard non-forfeiture law for life insurance)	\$1,000	\$60
		間接的 規制가 가	.	
22)		豫定事業費	,	가
		豫定事業費		
		, , 가		
23)		4228 ( : )	,	가
			.	

· 附加體系

豫定事業費 附加方式

· 混合 , 가  
· 年次別 事業費 體系  
· 가 < -1> .

< -1> 一般終身保險(ordinary life policy) 豫定事業費 策定 例示

( : 가 \$100,000, 32 가 )

	가			가			가
				\$1,000			\$1,000
1	가	55%	\$ 60		3.33%	\$3.64	
	가	44%	\$ 10		2.67%	\$0.61	
	가	11%			0.67%		
	2- 10	5%			2.09%		
	2- 10		\$ 5			\$2.06	
		2%			2.00%		
	가		\$ 100	\$ 1.5		\$6.06	\$0.09
	가		\$ 50	\$0.2		\$3.03	\$0.01
			\$ 20	\$0.2		\$20.0	\$0.20
			\$ 100	\$ 1.0		\$0.85	\$0.01
					10.76%	\$36.25	\$0.31
	*				3.00%		\$0.50
					2.40%	\$3.00	\$1.25
					16.16%	\$39.25	\$2.06

: \* (allowance for contingencies) 事業費

: Dan M. McGill, *McGill's Life Insurance*, Pennsylvania : The American College, p. 388.

가

(allowance for contingencies, allowance for dividends) 豫

定事業費

3가

가

· 實積現況

實際事業費 支出現況

11.2%가 (operating expenses)

4.4% (commissions to agents) , 6.8%

(home and field office expenses) .24)

FY'96 45 9,528 事業費가 6

8,331 14.9%

24) ACLI, 1996 *Life Insurance Fact Book* , p. 76

100 60.8%가 ,

11.2%가 , 2.9% ,

1.8%가 .

## 2. 日本

### 가. 規制現況

생保協會 標準事業費率  
가 豫定事業費 가 .  
가  
가 豫定  
事業費率 가 .  
4 ( ) 2 ,  
, ,  
. 가  
, 가  
가  
가

### . 附加體系

豫定事業費 附加體系 , ,  
,  
.

< -2>

事業費 加

25/ 1,000,                      20/ 1,000,                      8/ 1,000

2%

2.4/ 1,000,                      1.9/ 1,000

3%

< -2> 標準事業費率 例示(生死混合保險 基準)

		10 : 25/ 1,000	
		10 : 17/ 1,000 25/ 1,000	
		0.1 2%	
		2.4/ 1,000	
		3%	

持續的 下向調整

1970                      30/ 1,000

25/ 1,000                      0.1 2%

1950                      7/ 1,000                      2.4/ 1,000

3%

・ 実績現況

が 実際事業費率 現況 1995  
 25) 13.8%

< -3>

, 26)

< -3> 実際事業費率 推移

( : %)

	1991	1992	1993	1994	1995
	15.5	15.0	14.4	14.2	13.8

: , 『1996 』

1995

2,140 円 保障性保険 1,817 円 85%

, 71% 27)

が

豫定事業費 が

3

58.1% 14.3% 28)

25) FY '96 17.9%

26)

( : )

	1991	1992	1993	1994	1995
	443,397	427,859	421,362	399,665	395,392

: , 『1996 』 , p.61

27) , 『1996 』 , pp. 84- 85

28) 保険研究所, 『Insurance』 , 平成8年, p.261

1 89%  
15.4%

가

### 3. 가

#### 가. 規制現況

가 豫定事業費 , 實際事業費中  
(commissions) 가 金融當國(Monetary Authority of  
Singapore) 306  
50% 가  
15 30%  
納入期間 15  
50% ( × 2)% 募集手數料  
가  
2 합 75%  
100%

. 附加體系

- 가 : ( 가 ) 30% 1,000  
0.35
- : 5% 1,000  
0.05
- - : 30
  - / : 20
  - : 50
- : 10  
20 (commission)  
1 50%, 2 20%, 3 4  
10%, 5 6 5%

## · 合理的 事業費 策定方案<sup>29)</sup>

豫定事業費 體系 問題點 改善方案  
 外國 豫定事業費 附加現況  
 改善方案 內容 現在 豫定事業費 附加體系  
 規制 制度 技法的 側面  
 現行 豫定事業費 附加方式 價格自由化 時代  
 方向 變化 가 焦點 合理的 豫定事業費  
 策定方案 發生 事業費  
 機能別 分析 保險商品 原價 算定 豫定事業費 策定  
 附加保險料 算出 合理的 根據가  
 正確 損益計算 販賣中止決定,  
 合理的 統制가 가

### 1. 原價會計的 接近

會計學的 原價 資源(資産)  
 가 經濟的 效益 獲得 債務 履行  
 所要 支出  
 가 商品 開發, 販賣, 管理 未來

29)

Elizabeth A. Mulligan, *Accounting and Financial Reporting in Life and Health Insurance Companies*, LOMA, 1997

豫想 支給金 가 가  
 가 ( )  
 가 ( )  
 ) 原價情報 集積 가 .  
 가 原價會計體系 가  
 가 .  
 , 原價會計體系 가 .  
 . . . . . 經營者  
 財務的 成果 가  
 最善 意思決定 .  
 原價會計制度 가 .  
 , 가 原價會  
 計體系가 가 . .  
 自動化 會計技能 . 自動化  
 原價會計體系 , ,  
 가 .  
 , , ,  
 原價會計體系 .  
 會計原則  
 . 原價會  
 計體系 가 .  
 原價會計體系

㉑ , , 適正價格 算定 原  
價決定

㉒ 가 一致化

㉓ 保險商品形態, 保險種目, 子會社 關係會社別 原價  
決定

㉔ 問題解決

㉕ 豫算編成

㉖ 配當政策 樹立

㉗ 가 統制力  
維持 實行

### 가. 原價 分類

가 가 . 가  
明確 分類 가 가 財務報告가  
. 가 形態別, 活動別, 測定別 가

#### 1) 形態 分類

㉑ 直接原價 間接原價

直接原價 , , , 原價對象<sup>30)</sup>

30) 가 가 가

間接原價 共同費 共通經費 間接原價 間  
 接原價 共同費 共通經費 間接原價 間

㉞ 統制可能原價 統制不能原價

가 가 調整  
 가 가 가 가  
 가 가 가 가  
 가 가 가 가  
 가 가 가 가

㉟ 區別原價(differential cost) 埋沒原價(sunk cost)

가 未來原價  
 가 過去原價

㊱ 沒入原價(committed cost) 任意原價(discretionary cost)

가 經營意思決定 가  
 가 가 가 가  
 가 가 가 가  
 戰略計劃 合致 가 가

가 , , .

## 2) 活動性 分類

### ㉠ 固定原價

가 가  
가 , ,  
가 .

### ㉡ 變動原價

가 .

### ㉢ 準變動原價

가 混合原價 , 가 가  
가 . , ,  
가 . ,  
가 .

## 3) 測定 分類

### ㉠ 單位原價(unit cost)

가 發生費用 .  
가, 가, 가,

가 . 가  
 . , . ,  
 가 , . 가, ,

가 , 標準原價(standard cost)  
 . 가 特定項目  
 가 . 가 實際發生原價 比較 原價統制  
 過程 . , 가  
 가 管理會計 統制過程

㉞ 限界原價(marginal cost)

가 가  
 總原價 增加分 . 가  
 가

㉟ 機會原價(opportunity cost)

가 拋棄 效  
 用 . 가 가 가  
 가 가 가

· 原價 集積

原價會計體系 가

充分 情報 提供

原價會計體系

가

가

가 가

가 4가

· , 費用

類型 · 保險種目 · 部署 原價 · 機能(function) 4

1) 費用 類型 原價 集積

, , 가 가

가 · 財務諸表

財務報告 要件 , 時間 變化

가 . 가가

가

가

2) 保險種目別 原價集積

가

가 . 集積方式 가

가가 問題點 把握

3) 部署別 原價 (cost center)別 原價集積

가 가 . 가

가가

가

가

算出水準

가

가

가

4) 機能(function)別 原價集積

特定目的 一連 活動 . ,

保險會社 典型的 가

가 機能原價(functional cost) .

가,

가 細部原價 .

가

가

가

가

가



㉔ 直接原價 配分比率

가 가 가 가  
가 .

2) 間接原價 配分方式

가  
가, , 가

㉕ 間接給與原價

가 .  
가 時間分析(time analysis) .  
가  
3가 .

① 推定時間分析(estimated time analysis)

가  
가 .  
가 .

② 實際時間分析(actual time analysis)

project

가

③ 標準時間分析(standard time analysis)

가

가

㉔ 給與 間接原價

가

가

· 非給與 間接費用

가 가

가

가

㉕ 部署 原價

生産部署(營業部署)

· 部署自體

가 . , , ,  
 가  
 가 3가

① 直接法(direct method)

가가

② 段階法(step method)

가가  
 가가

③ 相互法(reciprocal method)

가 가가  
 (simultaneous algebraic method)  
 가가  
 가 가

④ 再附課法(chargebacks)

가 , ( )  
가 .  
가 .  
公平 가 .

2. 原價分析

保險外部環境 變化 保險產業 原價會計體系 精巧化 가  
利子率 變化 複雜  
價格算定 諸假定 , 銀行 · 相互基金 · 會社 金融機關  
競爭深化, 保險產業內 競爭深化, 消費者 代替的 投資案  
認識提高, 傳統的 販賣方式 經濟的 壓力  
原價分析 變化分析法  
(change analysis), 機能別 原價體系(functional cost system), 活動基準原價法  
(activity-based costing)  
原價分析 連繫性 分析方式  
機能的 原價法

가. 變化分析法(change analysis)

時間 變化 原價 變化形態 . ,

가  
趨勢

가  
原因

· 機能別 原價體系(functional cost system)

1) 機能別 原價體系 概要

機能의 原價 , 가  
가 . 機能別 原  
價體系 構成原價

原價分析

· 機能의 原價法 가 保險料 算定

人力 充員

· 機能의 原價會計體系

單純

, 가 複雜

機能의 原價資料

. , 가 ,

, ,

benchmarking

가

適正 分析觀點

效果的 機能原價 會計體系



2) 機能原價體系 運營方式<sup>31)</sup>

機能原價體系

原價分析

㉠	(type of expenses)
㉡	(expense unit)
㉢	(functional percentages)
㉣	(expenses by function)
㉤	가(functional unit costs)
㉥	가 2 (secondary line)
㉦	
㉧	(unit cost)

㉠ 費用類型(type of expense)      費用 區分

NAIC(National Association of Insurance Commissioners)

4가

① (commissions)

31)

John C. Fraser, *Study Notes : Expense Analysis (Part 7)*, Education and Examination Committee of the Society of Actuaries, 1974

- ② (general expenses)
- ③ (taxes, licenses & fees excluding  
Federal income taxes)
- ④ (Federal income taxes)

一般管理費(general expense)

1.	\$	x x x
2.		x x x
3.		x x x
4.		x x x
5. 旅費		x x x
6.		x x x
7.		x x x
8.		x x x
9. 가		x x x
10.		x x x
11.		x x x
12.		x x x
13.		x x x
		<hr/>
		A

諸税金, 免許稅 手數料

1.	\$	x x x
2.		x x x
3.		x x x
4.		x x x
		<hr/>
		B

㉞ 費用單位(expense unit)      費用 區分

發生 源泉

1.	가	\$	× × ×
2.	가		× × ×
3.	가		× × ×
4.	가		× × ×
5.			× × ×
6.	가		× × ×
7.	가		× × ×
8.	(            )		× × ×
9.			× × ×
10.			× × ×
11.	가		× × ×
			-----
			× × ×

㉞ 機能配分比率(functional percentages)      決定

用類型	配分基準	原價	配分	比率	費
					保險種目別

가	保險種目別	原價配分			
		가 p.85 <	-1>		
	32)	5가	가		

32)

① 年間 時間研究 記錄法

가 精巧 , (expense unit) ( 作業單位(work unit) ) 作業時間 .

② 標準單位原價 利用法

( ) 加重處理方式(weighting) .

③ 去來件數 利用法

去來(處理)件數

④ 指數利用法

作業努力 全般的 指數(overall indices) 基礎

⑤ Armchair 方法

任意的 配分 , 가 . 判斷的 要素가 實務的 .

가 . 配分方式 .

㉞ 機能 費用(expense by function) 決定

p.86 <

-2>

㉞ 機能別 單位原價(functional unit cost) 決定

費用統制

가

가 가

가가

가

가가

( : unit)

測定單位

가

收入保險料<sup>33)</sup> 保險契約金額, 契約件數

가

p.87 < -3>

33)

가

가

)

.

:

.

:

가

:

㉞ 個人保險種目 機能別原價 2次保險種目(secondary line) 配分  
 機能原價(functional cost) 2  
 ( , (double indemnity), , 가  
 )  
 가 . NAIC  
 年次報告書 가 節次  
 . p.88 < -4> .

㉟ 一般終身生命保險 資産割當費用 決定  
 (asset share expenses for ordinary life)  
 가가  
 . 原價分析 結果가 效率  
 性 把握 保險料 計算 資産割當 分析 追加  
 細部的 .  
 가  
 . 가 , 가,  
 가 가  
 適正 單位(unit) 測定可能  
 . , 가  
 . 「㉞ 가 」 ,  
 가가 細部的 分析 가  
 . p.89 < -5> .  
 가 , ,

가

① 新契約(acquisition) 關聯 費用

i) 販賣(sales)

(commission)

ii) 契約查定(underwriting)

iii) 發行(issue)

② 維持(maintenance)

i) 保險料 收金(premium collection)

ii) 契約轉換(policy changes)

34)

가

가

iii) 配當(dividend)

---

34)

iv) 復活(reinstatement)

가

v) 繼續性 手當(processing commission)

가

vi) 其他 費用(other expense)

③ 契約終了(termination) 費用

:

④ 保險料 税金(premium tax)

ⓐ 一般終身生命保險	單位費用	此後年度	單位費用
算定			

機能原價體系	最終 段階
--------	-------

가,	가,	가	가
가	가		가
가( )			가가
가 p.90 < -6>			가

p.91 < -7>

原價分析

同一 會社

年間比較

保險會社間 比較

費用執行 效率性

實際事業費

豫定事業費 策定

豫定事業費 策定 體系化

合理化



< -2> 機能 費用(expenses by function)

(function)	(expense unit)											
	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx
	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
가												
	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx	\$xxx



< -4> 個人生命 年金費用 2次保險種目 配分

(function)			(double indemnity)		가	
A.						
	xx %	xx %	xx %	xx %	xx %	100 %
	.	.	.	.	.	100 %
	.	.	.	.	.	100 %
	.	.	.	.	.	100 %
가						
B.						
	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
	.	.	.	.	.	.
가						
( )	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx
	xx %	xx %	xx %	xx %	xx %	100 %
	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx
	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx

< -5> 一般終身生命保險 資産割當費用  
 (asset share expenses for ordinary life)

(function)	( )						(function)
	\$ xxx	\$ xxx	\$ xxx	-	-	-	-
	.	.	-	\$ xxx	\$ xxx	-	-
	.	.	-	xxx	xxx	-	-
	.	.	-	xxx	-	-	-
( )							
( )							

< -6> 一般終身生命保險 單位費用(unit cost)(手當 除外)

		( )	가	
(acquisition)				
\$ xxx	+	1/10	\$ xxx	xx%
.		가 ( )	xxx	\$ xxx
.		가 ( )	xxx	.
.			\$ xxx	. \$ 1,000
(maintenance)				
\$ xxx			xxx	\$ xxx
.			xxx	.
.			\$ xxx	. \$ 1,000
.		( )	xxx	.
(termination)				
\$ xxx			xxx	\$ xxx
.			xxx	.
.			xxx	.
(premium tax)				
\$ xxx			\$ xxx	xx%

< -7> 此後年度 單位費用

(first year)		
	xx%	
	\$ xxx	
	\$ xxx	\$ 1,000
( )		
	\$ xxx	
	\$ xxx	\$ 1,000
( )		
	\$ xxx	
	\$ xxx	\$ 1,000
	\$ xxx	
	\$ xxx	
	\$ xxx	
	xx%	

. 活動基準原價法(activity-based costing : ABC)

機能原價體系

機能配分比率 決定方法

가

Armchair

發展 方式

活動基準原價法(ABC)

. 機能原

價體系

活動基準

原價法

가

活動基準原價法

가 連繫

가

가 連繫 . ,  
 機能原價體系 가  
 가 가 .  
 . 가 가 가  
 , 活動基準原價法 活動 原價 發生 가 .  
 消費者  
 . , ,  
 . 가  
 가 가  
 . 附加價值가 가가 가  
 . 長點 가  
 가  
 活動基準原價法 活動(activity) “  
 ” . 活動誘引(activity driver)  
 . 가  
 活動基準原價法  
 가  
 . 가  
 , 適正 價格算定 效果的 原價統  
 制가 가 . 活動基準原價體系 4

1) 會社內 活動 把握

， 活動集團(activity pool)  
(activity center)  
傳統的 原價體系 가 (cost center)

2) 活動誘引 把握

， ， 가  
가

3) 各 活動 費用 一致化

가 ，  
가 가  
가 ， 가 가

4) 活動原價 商品 配分

가  
收益性 效率性 가

### 3. 保險商品 價格算定

實際事業費 分析 把握  
 集積 配分  
 原價分析體系が  
 「1.原價會計的 接近」  
 保險商品 價格算定 , 豫定事業費 策定

#### 가. 原價 保險商品 價格算定

가 가 最低水準  
 가 가  
 가 推定原價  
 가 保險料 收入 投資收入  
 , , , ,  
 가 가  
 未來 原價 趨勢 豫測 가  
 가 가 過  
 去 趨勢  
 가 價格選定(豫定事業費 策定)

原價分析

가

豫定事業費率

調整能力

豫定事業費率

競爭力 向上

原價分析

가

原價-規模-收益性(cost-volume-profit : CVP) 分析

原價-規模-收益性(CVP) 分析

CVP 商品價格, 販賣量, 固定原價, 變動原價

, 販賣規模

가

1) 貢獻利益(contribution margin)

CVP

가, , . 가

가

販賣價格 變動原價 差異

固定費

( , , ) 變動費( , , )

固定原價

$\text{單位當 貢獻利益} = \text{單位當 價格} - \text{單位當 變動原價}$ $\text{總貢獻利益} = \text{販賣收益} - \text{總變動原價}$
---

2) 損益分岐點(break-even point)

CVP	貢獻利益	原價 · 販賣價格 ·
販賣規模		純利益
A	1,000 ,	1 ,
가 0.6		가 .
	0.4(=1-0.6)	2
가 40	, 40	.
	가	
	<u>1.00</u>	<u>2,000,000</u>
( 가)	<u>0.60</u>	(1,200,000)
	<u>0.40</u>	800,000
( 가)		<u>(400,000)</u>
		<u>400,000</u>
0	販賣規模	,
가가	.	.

(가)	1,000,000
	(600,000)
(가)	400,000
	(400,000)
	0

,

.

$$= \frac{\quad}{\quad} = \frac{\quad}{\quad} \text{가}$$

A

1

$$= \frac{400,000}{1.00 - 0.60} = 1,000,000$$

CVP

販賣規模

가

< -1 >

CVP 分析情報 有用性

CVP

가,

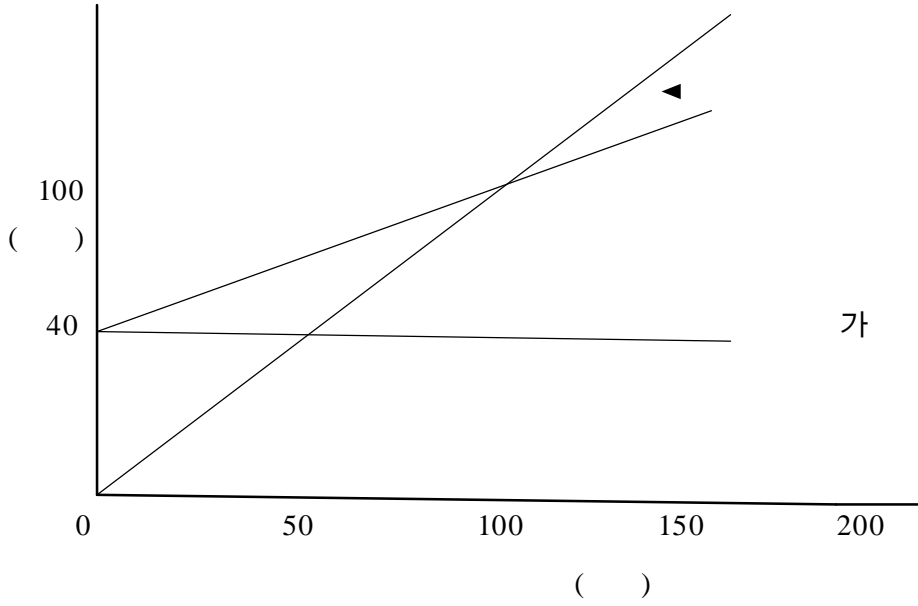
, 가

. CVP

가, 가, , 가 ( ) 가

利益 極大化

< -1> 損益分岐點 分析



## · 結論

生命保險 價格自由화가 4 가  
 1998 4 豫定利率 豫定事業費率  
 費差配當 가 2000 4 가  
 가 가 實現 .  
 全 金融産業  
 引受 · 合併 가 가 .  
 . 固有業務領  
 域 縮小가  
 . 1994 個人年金保險  
 , 第3分野保險  
 , 1998 退職年金  
 .  
 正(positive) 經營  
 負(negative) 經營 . 利源 統  
 制(control) 事業費 部分 效率化 科學化 負 核  
 心 .  
 生命保險 事業費 契約者, 會社, 募集人  
 . 가 ,  
 가  
 競爭力 確保 . ,  
 所得 保障機能 .



		가		將來	期待價
格					
			가	,	
	責任	經營	圖謀	專門家	養成
			計理人	資質向上	先
進技術		가	가		
				가	

## < 參 考 文 獻 >

- ・ ， 『生命保險 募集組織 效率化 方案』，  
， 1997
- ， 『生保商品・計理 部署長 』， ， 1997
- ， 『  
』，
- ， 『  
』，
- ， 『  
』，
- ， 『'95 生命保險性向調査』， 1995
- ， 『保險會社 綜合金融機關化 戰略』， ， 1997
- ， 『生命保險商品管理規程』， 1997.3.
- ・ ， 『生命保險 價格自由化 方案』， ， 1997
- ， 『新保險經營論』， ： ， 1994
- A.M. Best Company, *Best's Insolvency Study : Life/Health Insurers 1976-1991*, 1992
- American Council of Life Insurance, *1996 Life Insurance Fact Book*, 1997
- Fraser, John C., *Study Notes : Expense Analysis (Part 7)*, Education and Examination Committee of the Society of Actuaries

McGill, Dean M., *McGill's Life Insurance edited by Edward E. Graves*,  
Pennsylvania : The American College , 1994

Mulligan, Elizabeth A., *Accounting and Financial Reporting in Life and  
Health Insurance Companies*, LOMA, 1997

National Insurance Law Service, *New York Insurance Law*, 1997

Storey, Gregory P., "Expense Management : Industry Trends Part ",  
*Resource*, 1997 Jan., pp. 36 41

-----, "Expense Management : Industry Trends Part ",  
*Resource*, 1997 Feb., pp. 43 46

-----, "Expense Management : Industry Trends Part ",  
*Resource*, 1997 Mar., pp. 80 83

Swiss Re, *Sigma*, 1997.4.

保険研究所, 『Insurance』, 平成8年版

生命保険文化センター, 『生命保険ファクトブック』, 1996年版

< 附錄 >

35) 4228 36)

4228 生命保險 年金：費用 限度

- (a) , (alien),
- (b) , ,
- (c)
- (b)
- (1) (d) (
- ) 5% , ,
- (2)
- , (1) (m)
- (3) ( )
- (4) (m)

---

35) National Insurance Law Service, *New York Insurance Law*, 1997

36) (a), (1), (A), (i), (I)

(5)

1/3

(6)

(7)

60%

(c)

(1)

(A)

가

)

(i)

(ii)

(i)

가

(

)

( 가

)

20%

가

20%가

50%

- (ii) 35%  
 ( 가 )  
 ( 가 ) 37.5%
- (B) 50% 35%  
 3.5%
- (C) 30%( 가 ).
- (D) (1 ) 1  
 1 1 가 1
- (E) (A),(B),(C) 15%
- (F) (1 ) 1 2  
 가
- (G) 1 2 5 ( 가  
 , ) 3%
- (H) (1 ) 1  
 75 2 ( )
- (I) 1 75  
 ( 가 )

2.5%

(J) 가 , 1 65  
가 1 65

(K) 가 1  
1 30 , 1  
1

1 30 , (i),(ii),(iii),(iv)  
(v)

( ) 1 1 1  
( ) 1 1 75  
( ) 1 1 50  
( ) 2 1 25  
( ) 15 1 25 ,  
, 27 5 .

(L) (manager), (assistant manager),  
2/3 14

(M) 가 1 1/10 7  
5

(N) 1 1/10 (m)  
가 10 , ,  
.

(2)

, (1).(A).(i)  
( ) 가 가  
, 가 ,  
· ,  
(1).(A).(ii) .

(d)

(1) 가 , 가 (b)  
(1),(2),(3),(4)

,  
· , (c) (1) (A),(B),(C)  
, ((1)) (D) 50%, ((1))  
(N) ( (m) (1) (C) (D) )  
, (h) (1) (F) 가  
가

(2) 55%  
, 가  
60%

1/2 ,  
60% 1/2  
1/10 1% 가

(3)

(local salaried representative)가

가 .

(4)

,

, 가 . ,

(b) (2) (1)

(a) 가 ,

(b) (6) (a)

가 .

(5)

,

.

(e)

(1)

.

(A) (c)

(B) 1 3 ,

, 1 3

(C) 5 가

(i) 1 1.75 ,

1 1.75 ,

1

( ) 15 1.75 . , (ii) .

(ii) 1 1 25 , (iii)

가

(iii) (I),(II),(III) (IV)

( ) 1 1 1.5

( ) 1 1 75

( ) 3 1 25

( ) 15 1 25 .

35 .

(2) , 가

1% 1/4 , ,

(3)

(f)

(1)

(local salaried representative)

가

2%

(2)

前職

가

가

(h)

가

(g)

(1) (h)

가 가

(2) 가 , , , ,

(h)

(1)

, 1940 1 1  
 (A) “ ”  
 1953 1 1  
 (B) “ 가  
 ” (C),(D),(E)

(A) 20 가 ,  
 14 5%,  
 9 7.5%  
 5 5%.

(B) 1972 1 1  
 14 1.5%, 1972 1 1 1978 1  
 1 14

2.25%, 1978 1 1 1984 1 1  
14  
2.5%, 1984 1 1 1996 1 1  
14 2.75%,  
, 14 0.75% 가 가, 1978  
1 1 1984 1 1  
1% 가 가, 1984 1 1 1996 1 1  
1.25% 가 가, 1996 1 1  
1.75% 가 가  
. 1.75% 1.5%  
가  
(medical), (dental),  
가  
가 15 同等  
(C) (A) (B) 가  
1.5% ,  
3% , 3 14  
, 2/5  
1 .  
(D) , (B)  
가

, 14  
 (C) 1.5% 前述  
 (A) 2/3 .  
 (E) 15  
 2% .  
 (F) (d)  
 1 가  
 가  
 . . 4% .  
 (G) 10 가 .  
 ,  
 5 5  
 가 . ,  
 5 가  
 . , 가  
 ( )

가  
 , 7 8%,  
 10%  
 8 6%, 9 4%, 10 2% .  
 ( ) ( )  
 1/2 ( )  
 5 가  
 .  
 ( ) .  
 (2) 前述 가 ,  
 ( )  
 가

( ) ,  
 .  
 .  
 (i) , , , ,  
 , , , ,

(j) 가  
(self-supporting)

(k)

(1)

, (e)

(1) (C)

“ ” 가

(j)  
(debit)

家口別

가

(2) “ ” “ ”

(3)

(l) . (b) (1) ,(2),

(3) , 가

, (i) , (ii)  
, (iii) ,  
2 .

(m) (1) , 가

(A) 가 4

(B) 가 , ( ) 가

(C) 3 ( )

가 .  
(i) (d) 5%, 70

(ii) 30% ( ) 3

( )  
( )  
가 1

(d)

(D) ( ) 4  
가 가, ( )  
( )  
) 15%

(d)

(2) ( ) ( ) ( )

(n)

(1)

(2)

(3) 가

(d) (m)

, 가

가

가

가

( )

(h)

(o)

( )

1217

(p)

(1)

가

1

(2)

30

가

章(chapter)